

14. 調 査 ・ 報 告

〈平成11・12年度 メダカ生息調査〉

メダカは平成11年2月に環境庁の指定する「絶滅のおそれのある野生生物」のレッドリストで「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されました。

そこで、魚津市内のメダカ生息状況を把握する目的で、平成11年と12年の2ケ年にわたり生息調査を行いました。また、飼育下における繁殖も試みました。

平成11年では、6月に1ヶ所だけ、野生のメダカを確認することができました。発見されたのは、山の中の小さな溜め池で、コイの養殖に利用されていました。この池からの流れ出しは角川に注いでいます。

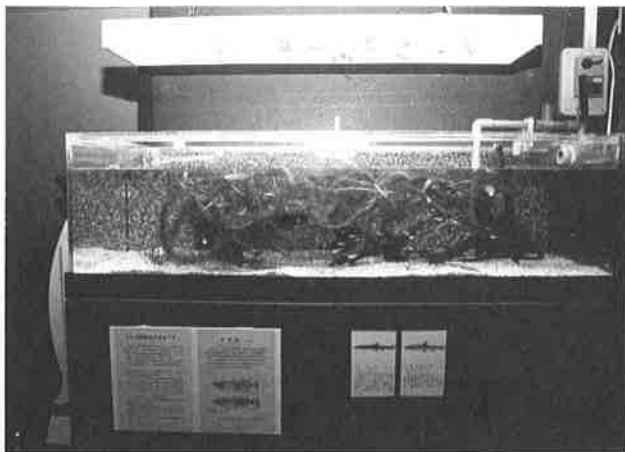
この溜め池のメダカを繁殖させるため、水族館に20尾を持ち帰り、繁殖を試みたところ、平成11年12月末で、約400尾に増えました。

平成12年に入り、5月18日、魚津市出地区にある養鯉池（黒瀬民夫氏所有）に水族館で繁殖したメダカ60尾を放流しました。この池の流れ出しも角川に注いでいる角川水系です。

さらに6月28日、大町小学校の池で飼育するため、20尾（オス5尾＋メス15尾）を分譲しました。

展示水槽も11月21日に従来の90cm置水槽から、旧イトヨ水槽（H40cm×W150cm×D60）に換え、飼育尾数231尾で展示を始めました。

平成12年度の野外調査では、7月31日、新たに1ヶ所、メダカの生息地を発見する事ができました。



メダカ展示水槽

これは、平成11年に発見された溜め池より、更に山手にあり、同じ角川水系の溜め池です。農業用の溜め池で、錦鯉が放流されていました。確認したのは大型の親魚と中型の若魚でした。水辺に近寄れる場所が限られていたせいか、多くは確認できませんでした。

平成12年度も11年に引き続き繁殖を試みており、平成12年12月末で約530尾（展示水槽を含む）のメダカを水族館で飼育しています。

— 稲村 修 —